

令和5年度 1月定例会会議録

- ◎招集年月日 令和6年1月19日(金)
- ◎開催日時 令和6年1月25日(木) 午後3時～午後4時45分
- ◎場所 伊那市役所 庁議室
- ◎出席委員 笠原教育長、北原教育長職務代理者、原田教育委員、黒河内教育委員
- ◎欠席委員 田畑教育委員
- ◎出席職員 三澤教育次長、宮下学校教育課長、北林子ども相談室長、矢澤生涯学習課長、小島社会教育指導員、福與指導主事、酒井指導主事、伊藤教育総務係長

1 開 会

2 あいさつ 教育長

- ・能登半島地震について、伊那市や上伊那から能登半島への応援隊が派遣されている。広域消防からは第4次までに延べ58人が出ている。中央病院からはドクターが2チーム、市からは給水や上下水道の専門家チーム6名が派遣されている。
- ・水道管や下水管の調査では、1日250メートルの計画がある中で、実際には168メートルしか進まず、非常に厳しい中で支援に取り組んでいる。
- ・ある避難所では避難者数は200人とのことであったが実際は140人であり、人数が正確にわからない中で、支援している状況とのことだった。
- ・輪島市の避難所の支援には3名派遣されており、学校教育課の守谷さんが隊長として参加したが、なお、みんなで支援を考えていく必要があると感じた。

3 委員の一言 教育長

- ・大学の頃に、ご専門が教育評価の石田先生は「子どもたちを評価する、そうしたら何をどう評価するのか子どもたちに、もう少し丁寧に説明した方がいい。」とおっしゃった。
- ・5段階で評価したりするが、どうしてこの数字だろうかということは少なからずある。どうしてその数字か、子どもたちが知らないままで評価されていることもあるのでは、ということで、社会科の教員時代には、子どもたちには1年間の学習計画や求める提出物についても丁寧に話をしていくことが大事と思いながらやってきた。
- ・次に「開かれた学校」という言葉を大事にしたいと思っている。開かれた学校とは、外に、地域に開かれた学校のことで、「内に開かれた」もあると考えたときに、一番大事に考えるのは児童生徒だろうと思っている。
- ・学校はどういうところか、子どもたちがわかるようにしているだろうか、学校は安心して学び、安心して生活することができる場所だと伝えているだろうか、あるいは子どもたちが納得して学校生活を送れるようになっているだろうか、と思う。
- ・子どもに開かれた学校でありたい。説明することは説明し、伝えることを伝える、そういうことを大事に考えたい。

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・1月11日に春の高校伊那駅伝幹事会があった。今回、女子が40回の記念大会を迎えるが、都大路が35回であり、伊那駅伝では5年も早く女子の部をつくっていることになる。
- ・記念大会の取組も考えているところであるが、こんな取り組みなら協力できる、そんなことが全国から寄せられているそうである。駅伝をやるだけでなく、支えていただいている大会に

なっていると感じている。

- ・17日には大谷選手のグローブが西箕輪小学校の子どもたちに贈られた。「大変喜んでいる」とのことで、大谷選手の「野球しようぜ」の言葉が届いたのだろうと感じた。
- ・市町村教育委員連絡協議会の理事会では、デジ図書信州について説明があり、例えば不登校の児童生徒が家庭でデジタル信州のサービスを受けて本を読む、あるいは英語の勉強をすることも可能ではないかと思った。子どもに実る取り組みとなることを期待したい。

第2 議案

(1) 伊那市史跡高遠城跡保存活用計画策定委員会要綱について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・教育長から「委員は10人以内で組織する」とあるが、委員の候補はどうか。」との質問があり、生涯学習課長から「高遠城跡の整備委員会委員に加えて外部の有識者を加えて10人となるよう検討している。」旨の回答があった。
- ・教育委員から「高遠城跡の保存活用は昔からのテーマであると思うが、今回新しくできる委員会ということで良いか。」との質問があり、生涯学習課長から「高遠城跡の整備計画に係る委員会により進めてきた。今回、国の補助金等を活用して史跡の保存、活用にあたり、保存活用計画の策定が必要であり、新たに委員会を設置するものである。」旨の回答があった。
- ・教育長から「伊那市全体の文化財等の保存活用計画との関係はどうか。」との質問があり、生涯学習課長から「全体計画の中で史跡高遠城跡の部分に関する計画となり、高遠城跡に絞った計画になる。」旨の回答があった。
- ・その他、質問、意見はなく、原案どおり決議された。

第3 協議事項

(1) 卒業式及び入学式の日程について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

第4 報告事項

(1) 「中学生の自習室2024冬」の実施報告について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
- ・教育長から「基本的な目的に照らしてどうかというご意見もあるが、会場の様子はどうか。」との質問があり、指導主事からそれぞれ「回数を重ねてきてクチコミはあると思うが、人数は増えていない。学校には、この子にぜひ行かせたいという時には、個別の対応をしているのかどうか、お聞きする必要もあると感じている。」、「毎回、同じ子どもたちが来ている様子がある。子どもたちは声を掛け合っている雰囲気があるが、他のクラスには広がっていったと思う。また、長谷からは誰も来ておらず、学校間交流の可能性もあるので残念に感じている。」、また、社会教育指導員から「西箕輪会場は学校規模の割には多かったと思う。案内チラシはどのように配られたか聞くと『特に何もなかった。』ということで配り方に難しさはあるが、企画の意図がうまく伝わると良いと感じる。」旨の回答があった。
- ・教育長から「大きな費用を充てており、多少の人数が増えても費用はそれほど変わらないことから、できるだけ多くの生徒に来てもらいたい。」旨の意見があった。
- ・教育長職務代理者から「学校の先生がお見えになったことはあるか。」との質問があり、それぞれの指導主事から「教頭先生がお見えになり、子どもたちの様子を見たり、話したりするケースがある。その時の参加者は多く、学校が子どもたちに声をかけていただくことが大事で、子どもたちにも響くものと感じる。」、「毎回、東部中学校の校長先生、教頭先生が、開催期間中に顔を出してくれている。」旨の回答があった。

- ・教育委員から「目的として『学力の定着や規則正しい生活』と書かれているが、趣旨として食事の提供があり、本当に来て欲しい子どもたちが来ることが大事だと思うが、実際にはどうか。」との質問があり、教育長から「取組を始めてしばらく経ってから、該当するお子さんは何人ぐらいか確認しているところで、子ども相談室から声掛けをしている。」旨の回答があった。
- ・教育委員から「対象とした子どもたちが来てない場合、何か違う方法で届くようにすることがシンプルな考え方だと思う。」旨の意見があり、教育長から「例えば『定員に達していない』という情報を、学校から保護者に向けて発信することはできる。上手な情報発信を検討したい。」旨の回答があった。
- ・教育委員から「支援が必要な生徒に対して食事を直接渡すという方法はいかがか。」との質問があり、教育長から「社会福祉協議会が行っている『ふれあい食堂』は、中学生になると行かなくなる傾向がある。中学生の自習室は誰が行ってもよく、意味のある場所だと思っている。」旨の回答があり、子ども相談室長から「社会福祉協議会のふれあい食堂では弁当が余ることがあり、その弁当はその日の内に必要なお子さんへ届けている。」旨の補足があった。

(2) 「令和5年度 伊那市二十歳のつどい」の実施報告について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明
- ・教育長職務代理者から「高遠会場では、始まる前にいくつもの輪ができて和やかな雰囲気があった。会では、背筋が伸びて、集中している様子があった。良い会に参加させていただいた。」旨の意見があった。

(3) 「伊那市人権同和教育講演会」の実施報告について

- ・社会教育指導員から資料に基づき説明
- ・教育長から「石川さんの講演は、どのような経緯があるか。」との質問があり、社会教育指導員から「今回は郡内で回ってくる特別な予算があり、また、保育協会からはスマホについて話を聞きたいという要望があり、石川さんをお願いした。」旨の回答があった。
- ・指導主事から「内容は近年ではナンバーワンだった。小中学校では、情報モラルについて南澤先生からお話をいただいているが、南澤先生からは子どもたちは理解してきており、親に話を聞いて欲しい、できれば保育園の頃から、親がしっかりと話を聞いて欲しい、との話があり、今回、保育士さんたちに聞いていただけたので、良い機会だった。」旨の意見があった。
- ・教育委員から「非常に有名な講師で人が集まるだろうと思うが、ホールは何人ぐらい入れるか。」との質問があり、社会教育指導員から「今回は200名ぐらいが限界であり、保育園関係者は40人の制限とした。去年と同程度の人数だったが、もう少しお越しいただいても良かったと思う。」旨の回答があった。
- ・教育委員から「リモートで発信することはできないか。」との質問があり、指導主事から「施設そのものにWi-Fi環境が整っておらず、実施にあたって有料にはなるができると伺っている。講師によっては別料金となる場合もある。」、教育長から「良い先生に来ていただいて、良い話をさせていただいている。リモートでの発信も考えたい。」旨の回答があった。

(4) 市誌編さん事業の進捗状況について

- ・教育次長から資料に基づき説明
- ・教育長から「落札した業者は公開となっているか。」との質問があり、教育次長から「見積りから5日間以内に契約となるので公表できる。」旨の回答があった。

(5) 2月以降の文化施設の行事日程について

- ・生涯学習課長から資料に基づき説明

(質問・意見なし)

(6) 共催・後援について

- ・学校教育課長から資料に基づき説明
(質問・意見なし)

(7) その他

- ・教育委員より「保育園で、保護者がこの日に来てくださいという参観があり、先生として子どもたちへの紹介があった。半日は外での活動で、寒い中で泣いている子どもたちもいた。今まで、子どもの服装など、学校や保育園に対する見方が違ってたと気づいた。実際に普段の様子を参観することで、親の気づき、子どもの気づきがあり、保育園とも理解し合える場を工夫してみることも良いと感じた。」との意見があり、教育長から「学校は子どもにとって、安心安全に生活できる場所にしていく、学校が子どもに対してどういう場所なのかを丁寧に説明する、そういうことが大事に、考えたい。」との回答があった。

4 その他

(1) 2月の日程について

(2) 3月以降の主な行事予定について

(3) 令和6年度年間諸会議等日程案について

- ・三澤教育次長から(1)から(3)まで、資料に基づき説明
(質問・意見なし)

5 閉会